

北区の幕末に大きな影響を与えた大先生 坂井経堂！

坂井経堂は、1818（文政元）年に、
上大月（大月新田）に生まれました。
名（本名）は庄次郎といい、字（別名）
は仲敬、そして経堂という号を名乗っ
ていました。

名主の家に生まれた経堂は、若い時
に江戸に出て、儒学者の佐藤一斎に
陽明学を学びました。3,000人の門下
生のなかでも屈指の優等生であったと
伝わっています。

帰郷後に名主を継ぐと、「四木の制」の
導入を唱え、新発田藩主に意見を述べ
ました。当時の人々の生活に欠かせな
い、漆、桑、楮、茶の4種の植物を植
栽することを勧めて、藩の特産物とし、
藩財政を改善しようと考えたからです。

さらに、新発田藩からの内意を受け
て家塾を開き、地域の青年たちの教育
にあたりました。経堂の学問と教育は新
発田藩に認められ、1847（弘化4）年
には、庶民に学問を教える社講という役
に任命されました。

幕末の混乱した時代のなか、経堂は、
勤皇の大義を貫くため、再び江戸に出ま
した。しかし、1863（文久3）年、46歳
で、志半ばにして江戸で亡くなってしま
いました。

経堂の教え子のなかで、十二の曾我
士郎・長戸呂の前田又之丞・浦木の曾
我簡堂は、のちに岡方組正気隊という
勤皇草莽隊を結成し、勤皇の志士とし
て活躍しました。（60ページ参照）

坂井経堂先生顕彰碑（上大月）
幕末に活躍した正気隊や北辰隊などが、直接間接に経堂の
意志を継いだものであるということで、顕彰の機運が高まり、
1967（昭和42）年12月に有志によって建てられました。



MEMO

佐藤一斎（1772～1859）

江戸後期の儒学者。幕末に活躍
した佐久間象山（思想家）や渡辺華
山（蘭学者）は一斎に学びました。

陽明学

明の王陽明が唱えた儒学。日本
では、社会変革の推進者に受け入れ
られました。

社講

新発田藩が庶民を教育するため
に設けた社講所の講師のこと。講義
は夜間に行われました。